



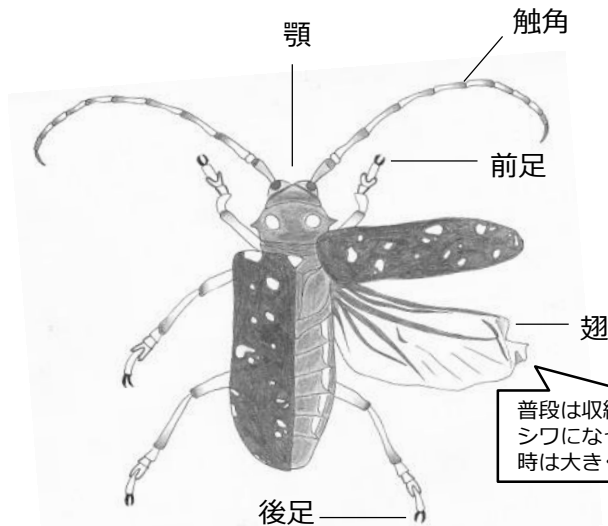


とねり自然図鑑



動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した安喰正敏さんのつぶやき】 葉の上に止まっていたカミキリムシに飛んで逃げられなようにそーっと近づき、正面からしっかり顔を撮影することができました。2つの長い触角が勇ましいですね。



名称：ゴマダラカミキリムシ
 学名：*Anoplophora malasiaca*
 体長：25mm～35mm
 分布：日本全土、（離島は佐渡島、伊豆諸島、対馬、屋久島）
 時期：5～8月
 生態：完全変態
 主食：みかん、柳の生木皮や葉
 天敵：鳥、コメツキムシ、ホソカタムシ

普段は収納しているので、シワになっているが、飛ぶ時は大きく広がる

【カミキリムシの触角と大顎】

○撮影者の安喰さんが感じたように、カミキリムシといえば、長くて太いワイヤーのような触角を思い浮かべませんか？ では、カミキリムシはなぜこんなにも触角が他の虫に比べて、太くて長いのでしょうか。

カミキリムシの視力はとても弱く、光の明暗が分かる程度なのです。触角が長いのは触覚器官として様々な情報を目の代わりに得るためです。実は触角にはもう1つの役割があります。それは嗅覚器官としての役割です。匂いを察知することで餌場を探したり、繁殖期にはオスがメスを探ることができるのです。しかも、カミキリムシの触角には筋力があり、ひっくり返っても触角を使って体を起こしたりすることもできるのだそうです。

カミキリムシは触覚も特徴的ですが、もう1つ特徴的な部分があります。それは大

顎です。そこに名前の由来が関係しているのです。みなさんはカミキリムシの『カミキリ』とはいったい何のことかわかりますでしょうか。

『紙を切る』？『噛み切る』？実はどちらでもなく正しくは『髪を切る』のが名前の由来なのです。髪の毛を切ってしまえるほどの顎の力から『髪切虫』と呼ばれるようになったそうです。その大顎はどのくらい噛む力があるのか気になりませんか？カミキリムシの噛む力はおよそ自分の体重の21倍ほどもあり、人間に置き換えると約1tもの力となります。なので、うかつに指を出すと噛まれて出血することもあるそうで、獰猛さはカブトムシやクワガタ以上とされています。

！ 舎人図書館にある参考資料の一部を紹介 ↓

- ！ 海野和男『甲虫カタチ観察図鑑』 草思社
- ！ 『むし ふしぎ・びっくり！？こども図鑑』 学研
- ！ 鈴木欣司・鈴木悦子『昆虫好きの生態観察図鑑Ⅱ』 緑書房

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！